

Iwate Prefectural Hanamaki Minami Senior High School

岩手県立花巻南高等学校

## 同窓会報 2017

34



〔発行〕岩手県立花巻南高等学校同窓会 事務局  
〒025-0053 岩手県花巻市中北万丁目288番1  
TEL(0198)23-4236 FAX(0198)23-4365  
URL http://www2.iwate-ed.jp/hks-h/

印刷 (株)菊忠印刷



## ご挨拶

同窓会長 瓜生 祐子  
(高女33回生)

新春を壽ぎ、同窓会員をはじめ関係各位のご多幸をお祈り申し上げます。

本校の同窓会は現在、本部と4支部で活動していますが、昨年の総会には総勢600人の会員が集結し、各々趣向をこらした集いが行われたことは喜ばしい限りでした。そのすばらしい会で15年間無欠席で交流することのできた幸を、改めてかみしめています。これは日頃からみなさまのあたたかいご支援があればこそと思つて居りますので、更なるお力添えをいただきたく存じます。

ここで1年間の活動をふりかえってみます。それは6年前の創立100周年の事業以上に難題だった。県立高校再編計画を阻止するための取り組みでした。これは会員のみで実現できるものではなく、大勢の市民の人から知恵をいただきながら行動をいたしました。その内容について記します。

平成27年12月25日、県の教育



委員会から突然に再編案が出てきました。それに関し平成28年1月13日に校長先生から連絡を受け、1月18日の会報編集集会の場で説明されたことから行動を展開いたしました。

つまり、平成31年度に母校が一学級減になるとのことで詳しくは出前説明会(パブリックコメント)を2月12日に実施ということでした。真冬の厳寒の夕刻、6時から、臨時の理事会を召集したところ、100人の方々が参加してくれました。

その直後から、署名活動をはじめましたが短い期間に5000人以上のご支援をいただきました。母校を愛するみなさん



さんの行動力と市民のあたたかなご協力は、心から感謝をいたしました。

そして28年3月23日、重い署名綴りをひっさげて県教委と県議会議長室を訪れました。執行部の4人に加え、花巻選出の県議会議員4名様全員と市議会関係者2名という強力なる助手の方々のご同行もいただき、志気の高まりを感じつつ陳情を致しました。しかしこの活動は始まりであり終りではないのです。ですから今後花巻南高校のすべての活動が注視され評価されることになるでしょう。だからより以上に教職員の皆様共々に力を合わせて母校の発展のために邁進しなければと念じています。

次に、台風10号豪雨被害にあった岩泉高校に心ばかりのお見舞いを致しました。本部の総会の折「中野七頭舞」を演舞した方々の一日も早い復興を祈る

のみです。

次は後輩の野球部についてふれてみます。ドキドキワクワクしながら、県営球場にOBの人と3人で2度応援に出かけましたが今は団体で行きたいと思えます。尚、まちがいはいえない。尚、まちがいはいえない。尚、まちがいはいえない。尚、まちがいはいえない。

動画のことで皆様方にご心配をおかけいたしました。今以上に後輩の活躍を見守っていきたいものです。

これからもあらゆる面での皆様方のめざましい活躍をご期待申し上げながら挨拶を結びます。

## ご案内

平成29年度岩手県立花巻南高等学校 同窓会総会

- 日時 平成29年7月2日(日)午前10時20分より  
“7月第1週目の日曜日”
- 会場 花巻温泉 ホテル千秋閣「グレートホール瑞雲」  
※総会終了後、懇親会を行います。
- 会費 5,000円 **是非お問い合わせの上、ご参加ください。**



いあいやう

校長 遠藤 可奈子

同窓生の皆様には日頃より力強いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

初めに、昨年10月末、同窓生の皆様が大変なご心配をおかけする事態が発生したことにつきまして、心よりお詫び申し上げます。生徒達がふざけていて撮影した動画の一部のみを誤ってSNSに投稿し、悪質ないじめと誤解されたものでした。同窓会長様、役員の皆様を始め多くの方々からいち早く励ましの言葉をいただき、本当にありがとうございます。その後、いじめではないことが明らかになり、生徒達は軽率な行動があったことを反省した上で、元気に学業や部活動に励んでおります。ネット社会の負の側面を痛感することとなった今回の教訓を活かして、今後とも生徒の健全育成に努めてまいります。

さて去る11月12日、「花巻ユネスコ協会設立50周年記念式典」が「なはんプラザ」で開催されました。岩手県ユネスコ協会三田地宣

子会長、上田東一花巻市長を始め多くの方々が出席され、盛大な式典でした。受付を済ませ、上品な女性に案内していただいたのですが、予想通り同窓生の方でした。席の周囲にも多くの同窓生がおられ、声をかけていただきました。オープニングで「花巻ユネスコ・セルクル」による素敵な合唱があり、ここにも同窓生の方々の姿がありました。この日、多くの同窓生がユネスコ活動に関わっておられることを知り、本校同窓生の品格と志の高さに感銘を受けたのでした。

記念講演の講師は、花巻で少年時代を過ごされた宗教学者・山折哲雄先生で、テーマは「宮沢賢治とユネスコ精神」でした。85歳という年齢を感じさせない話しぶりや記憶力にも感服したのですが、何よりその内容が素晴らしく、最高の講演でした。中でも印象に残ったのは、インド独立の父マハトマ・ガンディーと宮沢賢治に、一人で、非暴力で、

人々のために自ら動いたという共通点があったことに触れ、「賢治の精神は、広く深く多義的に理解したいもので、世界にひろく概念」であり、「ユネスコ精神」に通じると語られたことでした。「ユネスコ憲章」には、「国際平和と人類の共通の福祉」という目的をおし進め、「教育や文化を通じて人の心の中に平和のとりでを築く」ことが謳われています。やや抽象的ですがイメージしやすい「ユネスコ精神」が、賢治の精神を媒介に具体的な行動として目の前に立ち上がってきます。学校教育が目指すべき方向性、生徒の心の中に育んでいきたい資質を改めて認識する機会となりました。

結びに、花巻南高等学校64回生が卒業の日を迎え、新たに同窓会員として仲間入りさせていただくことをご報告いたします。伝統ある花巻南高校同窓生としての誇りを胸に、輝かしい未来に向かって力強く進んでほしいと願っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成28年度 同窓会総会の様子

今年度 同窓会役員

- 副会長 藤 貴 子 (南高 13回生)
- 佐藤 洋 子 (南高 14回生)
- 監事 川 映 代 (南高 6回生)
- 石井 牧 子 (南高 22回生)
- 高橋 睦 子 (南高 25回生)
- 常任理事 沼 ヒ デ (高女 30回生)
- 高橋 昭 三 (南高 2回生)
- 小瀬川 陽 子 (南高 5回生)
- 千葉 金 吾 (昭和 35年卒)
- 葛 卷 久美子 (南高 18回生)
- 笹 山 明 (南高 43回生)



恩師寄稿

体操部(12年間) 高総体10連覇 インターハイの 思い出

佐々木惇文 先生

私が花巻南高校で女子体操部にかかわるようになったのは、昭和56年の4月に転勤してきてからであり、初めて女子の体操競技を本格的に見ることになった。私が転勤してくる2年前に高校総体で優勝したが、次の新人大会は5位。1年前の高校総体も新人大会はいずれも5〜6位と低迷しているところであった。まず、始めたことは選手に目標を与えるために「優勝するた



めに、なにが今必要か？」を目標に掲げ、練習計画を立てた。

①個人の筋力に合わせた技の開発と基礎体力の強化  
②自分だけの難度の高い技を持たせる。

③必ずチームに1年生を入れ、来年・再来年のエースを作る。

④マネージャーの育成：選手の手補助ができるように育てる。

⑤全員で準備し、全員で片づける(学年枠を作らない)

⑥常に1年先のための練習と試合を考える。

⑦監督が毎日練習に参加し細かい指示と補助をする。

⑧部室、練習場所はだれが入ってきていいように、常に整理整頓をする。

★1年目(S56年度) 高総体：5位

★2年目(S57年度) 高総体：4位

★3年目(S58年度) 高総体：初優勝

愛知インターハイ：夏の名古屋は岩手県では感じることのない暑さで宿舍の冷房は効かず、窓も壊れて開

かず、眠れず、非常にづらかった。



★4年目(S59年度) 高総体：2連覇

秋田インターハイ：宿舍では夕食のときに『なまはげ』の実演をみせてくれた。また、海が近いので海水浴にも行った。しかし、生徒たちは水着を持っていないのでレオタードで泳いだり、試合だけでなく結構楽しんで大会であった。

★5年目(S60年度) 高総体：3連覇

石川インターハイ：全国第20位と近來になくいい成績であった。ベスト16位まで(規定通過)まであとわずか、団体総合0.3点差で惜しくも達しなかった。また、宿舍は粟津温泉の温泉プール付ホテルで、選手は

練習が終わるとチャッカリ泳いで楽しんでた。

★6年目(S61年度) 高総体：4連覇

島根インターハイ：会場地である浜田市は、町の中央を流れている川には40〜50cm位の錦鯉が群れをなして泳ぎ、浜田市の人々がエサを与え大事にしている所である。大花火大会をアイスを食べながら見たことが今でも皆の思い出となっている。

山梨国体は花南単独のチームとして出場した。試合後の目当ては夢にまで見た『富士急ハイランド』しかし、現実には甘くない……休日に朝早く起き準備万端整えてバスに乗り一路富士急へ……駐車場に着いたとき嫌な予感、車が1台も



★7年目(S62年度) 高総体：5連覇

北海道インターハイ：総合体育館は海のそばにあり、なんと、遊園地まであるではないか……ラッキー。休日に遊園地で遊んでいたら遊園地の管理人が私のところへきて、無料にするから楽しんでいってくださいとのこと、訳を尋ねると生徒達の声が大きくて・楽しそう

★8年目(S63年度) 高総体：6連覇

兵庫インターハイ：甲子園球場の周りに旅館がたくさんあるのに我々の宿舍は大阪。なぜか……？甲子園の周りの旅館は、代表もまだ決まっていないのに、玄關に『徳島県池田高校様』等各県の代表校の名前が張り出してあった。後で聞いたら、野球以外は宿舍お断りなのだ(値段が野球の方が高い!)ちなみに『池田高校』はこの年、残念ながら徳島の代表にはなれなかった。

★9年目(H元年度) 高総体7連覇

徳島インターハイ：3年生の1人が公式練習の平行棒の着地で失敗し、膝の前十字靭帯を断裂するという大ケガで出場不能とアクシデントが発生した。しかし、

止まっていなかった、オカシイ・オカシイ：実は休園日だったのです。みんなガツカリして同じバスで山梨の宿舍まで帰ってきたのです……(今でも飲み会があると言われます)。

小樽の人は優しいと感じた。又、有名な行列のできるラーメンの店を教えてもらい、行ったところ選手たちのために30分前に店を開けてくれ、麺が見えないくらいチャーシューの乗ったラーメンを食べた。

残りの3人が頑張り、特に個人で予選通過にあと0.5まで迫る演技を見せてくれた。



★10年目(H2年度)

高総体：8連覇



宮城インターハイ：女子校最後の年で翌年3月に移転し、男女共学になる。花巻市中心部の城内から郊外の広い場所に移転し、第2体育館の2/3を体操専用にしてよいと許可をいた

き、専用のピットも造ることになりました。全国の公立高校では専用体育館とピットを備え付けたのは初めての事であった。

★11年目(H3年度)

高総体：9連覇

静岡インターハイ：市内よりバスで40分位の『蔵の温泉』という一軒家の温泉で、駐車場に新たに作った部屋が宿舎。つり橋が対岸まで

かかっている大きな川(一人通れるぐらいの幅で板の隙間から下の川が見えるのです)を選手たちが目覚ましを兼ねて渡ろうとしたが、1人が途中で泣き出し

一歩も進めなくなり岸に戻すのに大変だったことが印象的であった。又、国士館大学の後輩である四天王寺高校(全国優勝常連校)の監督と一緒に飲む機会に恵まれた。その中で「新しい床フロアを購入したので古いフロアが余っている」と

の話を聴き、花巻南高校には専用体育館はあるが床フロアがないことを説明したら、快く床フロアを譲る手配をしてくれて、その年の冬には体育館にフロアを

配置することができたのであった。(新規で購入すれば800万円)

★12年目(H4年度)

高総体：10連覇

宮崎インターハイ：ただ暑い・アツイの一言であった。朝4時からシャワーのようなセミの声、旅館の庭にはセミの抜け殻が至る所にあり、庭中は穴だらけ、セミが出てきた穴が一杯あった。

私はこの年で花巻南高校から盛岡市立高等学校に転勤になった。

今回は、第1期花巻南高校体操部時代を書きました。機会があれば第2期花巻南高校体操部時代の6年間、第3期花巻南高校体操部コーチ時代6年間も書いてみたいものである!!



恩師寄稿

花巻南高等学校同窓会とともに

米田保弘 先生 (現岩泉高等学校教諭)



思い出多い花巻南高等学校を離れ5年が経とうとしています。今年度の同窓会総会アトラクションに、顧問をしております岩泉高等学校の郷土芸能同好会をご招待頂き、「中野七頭舞」を披露させていただきました。その関係からか同窓会報に寄稿の依頼がありペンを執らせていただきました。本来恩師寄稿には在職



2008年 海外修学旅行引率としてハイ

中大きな功績を残された先輩方が執筆されておりますので、寄稿のお話しを頂きましたときは、若輩の身で僭越とは思いましたが、思い入れの多い勤務校でしたのでお引き受けした次第です。

平成18年4月から7年間在職しましたが、その間総務部として勤めた関係から、瓜生祐子会長を始め、多くの役員、同窓生の皆様には大変お世話になりました。特に平成19年からは創立100周年記念事業の事務局として、同窓会、PTAの皆様と一大事業を成し遂げたことは私の中で大きな財産となっています。その創立100周年記念事業を中心として、同窓会、PTAを5年後に110周年を迎える同窓会の皆様へのエールとさせていただきます。

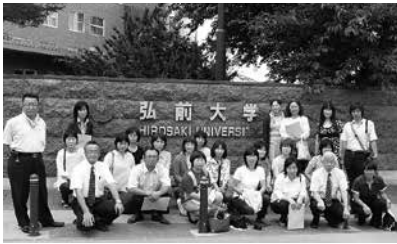
創立100周年の節目を記念する同窓生名簿の作製は、記念事業の中で重要な基盤となるもので、名簿の刊行は不可欠な事業の一つと考えられました。しかし、個人情報保護が厳しく問われる中で刊行は予想を



2008年12月 姉妹校韓国安養外国語高校へ5名の引率 (初めての海外出張)



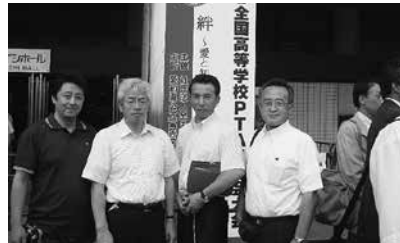
上回る苦情の嵐で苦境に立たされました。「名簿の刊行は誰が決めたのか」「私は認めていないのに何故発刊されるのか」という類の苦情が連日のようにあり、対応に苦慮しました。中には事務局だけの対応では納得せず、瓜生会長にまで対応が及んでしまうこともあり、誠に申し訳ない事態となつてしまいました。また、発刊後もある同窓生



2009年7月  
PTA研修旅行で弘前大学視察

からは、「80周年の同窓生名簿に記載されず、その時指摘したにもかかわらず今回も記載されていない。」と苦情が寄せられる等名簿編集に係る難しさを痛感した事業となりました。難産だった100周年記念同窓生名簿でしたが、記念事業推進の基盤になることは勿論のこと、後の同窓会事業には欠かせない貴重な資料になったことは言うまでもありません。

同窓会の組織は正に瓜生会長の泰然自若とした面を反映しており、事務局としては頼もしい限りでしたが、時として性急と思われることも間々ありました。記念事業寄付金募金もその一つで、平成21年には各卒業回生毎に目標額を設け、時として性急と思われながらも間々ありました。記念事業寄付金募金もその一つで、平成21年には各卒業回生毎に目標額を設け、時として性急と思われながらも間々ありました。



2008年8月全国高P連愛知大会にて

定し、募金活動が始まりました。平成23年の記念事業に向けた寄付金の募金としては内心開始が早いのではないかと思っておりましたが、平成21年度末決算では既に1000万円を協賛会会計

に計上するまでとなり、旧女子校の母校愛の基、縦のつながりの強固さと横のつながりの厚さを示したものでなりました。前回の80周年の時の経済状況とは大きく異なる中での寄付金募金でしたが、同窓生からの寄付金は各卒業回生から平均して目標額の85%を達成していただきました。特に高女33・34回生の500%を始め、高女、初期南高回生の方々からは100%、200%前後と目標額を大きく超える寄付金のご協力をいただきました募金活動を牽引していただきました。その2年後に発生した大震災のことを考えますと、1年でも取り組みが遅れたり、募金期間が長くなっていれば記念事業全体の変更にも関わる事態となることが予想されるだけに瓜生会長の、同窓会の先見の明には敬服しました。



2010年11月 内田スワさん、藤井邦子さんの法務大臣表彰を祝う会

発起人会設立から8年かけて周到に準備してきた創立100周年にあたる平成23年、未曾有の大震災が発生。日本国中が喪に服するような世態で、慶事は憚るような空気さえあり、記念事業が頓挫する危惧がありました。しかし、海外から



2007年同窓会総会

なり、8年間蓄積してきたエネルギーがこの一年間の記念事業に注がれ、主役の生徒は勿論、それを支える同窓生の方々の活躍が光りました。

ソフトテニス部の台湾遠征、ハンドボール部、剣道部、ソフトテニス部、野球部の北海道・東北の強豪校を招いての招待試合、延べ四回に渡る早稲田大学応援団を招いての応援リーダー研修、人工芝運動場の新設等々、後の花南の躍進に繋がる事業が展開されました。

周年事業を締めくくる記念式典は、当時一部職員から「それは私の仕事ではない。」「それを私がやるのか。」等非協力的な発言や態度にがっかりしたり、思うように準備が進まず、深夜まで帰宅できない日が続いた時等は、果たして開催に漕ぎ着けられるのかと心配と焦燥感でいっぱいでしたが、平成23年10月1日、記念式典が定刻に始まり、多くの力が結集してほぼシナリオ通り進行する様子を客席で見守りながら一人感動していました。長い月日を重ねてこの式典に漕ぎ着けた感慨は一人でした。今当時は振り返ってもその時の感動が甦ります。100年にわたる資料を目にし、手に触れその重さを実感した7年間だったような思いがします。初めて瓜生会長を紹介していただいた日の夕方に、市内の食品売り場で再びお逢いし、数日後「米田先生、〇〇で納

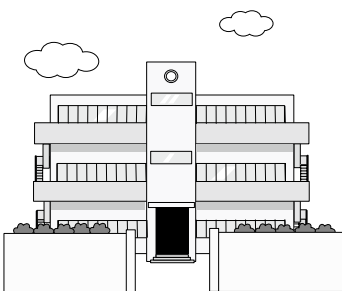


2007年7月 同窓生本校視察研修

豆買ってらっけ。」と暴露され大笑いされたのが最初の役員会でした。同窓会総会で毎年300名を越える、正に『日本一の同窓会』に携わることができ、多くを勉強させていただきました。心から御礼を申し上げます。花巻南高等学校同窓会の益々の発展を祈念し寄稿とします。



2011年創立百周年記念事業祝賀会で花南讃歌合唱



## 定期総会

## 定期総会に参加して

安藤 恵子  
(南高11回生)

平成28年7月10日恒例の花巻南高校同窓会がホテル千秋閣で開催されました。

それに先立って理事会や準備会が開かれ、私たち11回生は最後の当番幹事ということで集まり相談しました。その結果、一つは日本舞踊を続けられている原祐子さんが引き受けて下さり、当日「祇園のおんな」を艶やかに踊り、舞台上華をそえてくれました。

もう一つはレクレーションダンスの藤原園子先生の了解を得て「夜祭り囃子」を踊ることに決定。まなび学園を予約して、午後集まりお茶を飲みお喋りをしながら3日間練習しました。本番では黒いTシャツにスパッツ、そしてお借りした裃纏を着て威勢のいい踊りを披露する事が出来ました。プログラムの最後に「懐

かしのメロディ」で高校生の頃流行していた「北上夜曲」と「高校3年生」そして「夏の思い出」の3曲をアコーデイオンの伴奏で、踊りに参加しなかった人も一緒に舞台上立ち、気持ち良く歌いました。1回しか練習しなかったけれど知っている歌なので声がそろっていました。

50数年前の1年生の3学期に鼓笛隊に入部して、たて笛を吹いたり、教則本を見てアコーデイオンを練習し、先輩と一緒に応援歌や南校の歌、若い力などを演奏して応援していた事が思い出されます。

短大卒業後、保育園に勤めて祖父母参観日や日常の保育の中で小さなアコーデイオンを弾いていました。定年近くなつて、昔花小の音楽教師だった阿部孝先生から電話があり、母の知人でもあったので2人でお宅を訪問し歌謡曲を3曲聴かせて頂いた。難しいけれどこの先生の指導を受けようとお願いをし毎週通つた。現在先生の後を継いで、高齢者施設の月1回の音楽

教室に通つたり、他の施設の誕生会などに訪問して一緒に歌いその笑顔に私は元気をもらっています。これも高校時代に鼓笛隊で活動していたお陰だと思っております。

創立100周年記念の時に発表し、同窓会でも毎回歌われている「花南讃歌」の作者は、私の花中2、3年の時の同級生の前川和男さんです。クラス会で賑やかな男子の中でも控え目で落ち着いている彼は、

とても素敵な歌を作つて下さいました。1番は女学校、2番は私たち女子の南高、そして3番は今の男女共学の南高です。作曲された方は、同級生で旧姓神戸尚美さんのご主人である杉村俊博さんで、とても歌いやすく親しみやすい曲で、心を込めて声高らかにみんなで歌いました。

11回生は、それぞれ都合があつて18名の参加でしたが、花巻と友好都市である平塚市から1名。そして東京から宮沢妙子さんと石黒新子さんの2人が駆けつけてくれました。後日「同

級生の皆様と懐かしい話に花が咲き、高校生に戻ったかのようなひと時を過ごさせて頂きました」と嬉しいお手紙を頂戴しました。

瓜生会長はじめ役員の方々の沢山の準備やご配慮があつて同窓会が成り立っていることを改めて感じ感謝の気持ちでいっぱいになりました。

## 定期総会に参加して

隅田 悦子  
(南高21回生)

花北地域の公立校の中で100年を越えた最も歴史ある誇り高き母校を卒業し早数10年。

会報等で同窓生の活躍、情報を何となく得ていたものの仕事と家庭の世界が中心の私が定年退職を機に初めて参加した同窓会でした。

瓜生会長はじめ大先輩方、そして多くの後輩の皆様にお会いできたことは想像以上の感動でした。同級生との再会は卒業以来の方が殆どで、見た目の変化に正直年月の流れを感じましたが、一人一人の面影から、白いブラウスとジャンパースカートの直向きで可憐な姿と当時の様々な出来事が甦ってきました。

屋上での応援歌練習。厳しさもなぜか心地良く「南高生」という自覚と誇りを実感できた瞬間でもありました。クラス対抗の球技大会で、運動音痴の私が作戦とはいえまさかのピッチャーをしたことや、文化祭で踊った創作ダンス「アケリアス」のメロデュー

は今でもはつきりと覚えています。文武両道の精神をよそにお洒落に目覚めた女子高生の日課は髪と身だしなみのチェックに時間を費やしていましたが、模範生からかけ離れているそんな私でしたが、思い返すと行事を通して、仲間と目標に向かいやりとげた達成感や充実

感を味わうことが出来ました。ピュアで輝かしい思い出として色あせることがないので。

今でも、旧校舎だった「まなび学園」には、当時と同じように門や柳の木が在り、研修会や講座で利用する度に、あの頃と変わらない間取りの教室に身を置くとタイムスリップし、机こそないけれど、南側の窓から差し込む陽の光や風が、とてもとても懐かしいのです。

改めて、かけがえない高校生活であつたと、私の人生の大切な一部であると、しみじみ想っているのです。

実は、同窓会・定期総会デビューの私に司会進行という大役を任せられ、当日打ち合わせにプチパニックでした。次回からは、ゆくりと歓談しながら参加したいと思っています。

年に一回、先輩、後輩、同輩が一同に会する貴重な機会です。同窓生の皆様、元気の充電をしましょう。ぜひ参加してくださいね。

# 会員だより

## 高校3年間の

## 思い出

笹山 明  
(43回生)



「高校生活3年間は濃密だ」楽しかったこと、辛かったこと、悔しかったこと、先輩・後輩のこと、多くの思い出があり、会員投稿のお話をいただき、20年以上前の何を書けばいいのか迷ったときに、このことが頭に浮かんだ。

私が入学したのは、男女共学3年目を迎えた全学年に男子がいる環境で、各部にも男女がおり活気に満ち溢れていたが、所属していた部では女子部員が40名近くいるなかで、男子部員の3年生はM先輩1人で、2年生は7人と小規模ながらも明るく

某デパートのソフトクリームや、しんちゃんたい焼きでの特大かき氷を食べながらのたわいもない会話。連日の厳しい練習など、部活での事柄が多く思い出される。

お互いに切磋琢磨している雰囲気だった。私と同期の9人は、すぐに先輩方との垣根がなくなり部活以外の時間も一緒に過ごすことが多くなっていた。これは、明るく朗らかな校風が影響しているのではと思う。男女合わせた部員数が80名近くおり女子が県のトップにいるため、練習メニューは出していただけけるものの、男子の練習を見ていただけの状況ではなかったが、この環境に打ち勝ち毎日ベストをつくそうんだ。

全学年が揃ったことの相乗効果だろうか私たちがけではなく、先輩方も強く成長していることを実感しながら県予選大会に臨み、前年と比較し順位も内容も良く、目標を上回るものであったが個人的には満足できず、県内の4強入りや在学中にできるようなになりたいと思った。M先輩が卒業し、翌年、翌々年に入部してきた後輩と共に内容の濃い充実した練習を積み我々が3



年時には県内の4強に食い込むことのできるチームになっていた。結果的に4強入りを最後の最後で逃してしまっただが、創部4年で4強を脅かすことのできる存在になったことを誇りに思う。11月23日に行われた日報駅伝が最後の大会となったが、終了後に感じたこと

は、M先輩が雨の日も風の日も、雪の日や夏の暑い日も腐らず、どのような環境にも負けない精神を持ち1人で創部1年目を戦い抜き花巻南高校陸上部(男子)の礎を築いた精神があつたからだということだ。明るく朗らかな校風と、M先輩の真摯に練習に取り組む精神が我々を強くしてくれたのだと思う。

愛する学び舎を卒業し、進学、就職、結婚し家族が増え20年以上を経過した現在もM先輩と県内でもクラブチームとして歴史のある笹間クラブで一緒に活動しており、高校での縁といったものの素晴らしさを感じている。また、毎年同級生と楽しく美味しなお酒を酌み交わし、お互いの無事と近況を語り合う機会がある。みんなおじさんになってしまっているが、かけがえない仲間だ。

授業や部活動だけではなく、様々な経験とかけがえない仲間との出会いや学びが、現在の私という人間の基礎を構築していった貴重で濃密な3年だった。

## 短歌

本館 佳代子  
(花南7回生)



私の短歌を会報に載せて下さるとの事、びっくりです。五七五七七の字数だけ知っているだけで何も知らない私なのでその時、その時の感想を字数に当てはめただけでございます。こんなものが、ご期待に沿えるとは思いませんがお送り致します。

突然の  
原稿依頼 驚きつ  
ちゅうちよしつつも  
ほほえむ私

初めての  
会報開き 目を見張る  
高女 の二字に  
指折りかぞえ

紅葉に  
友と連れ立ち 温泉へ  
過去を語りて  
心からやか



# 支部だより

## 東京支部

東京支部

### 虎戸 滋次

(定時制 昭和35年卒)

私は昭和34年から38年までの4年間、自衛官として勤務しました。

それは入隊して間もないある日のことでした。新隊員訓練が終わって疲れきって風呂に向かう途中、薄暗くなったグラウンドを一人で走る新隊員を見たのです。昼間の激しい訓練を終



えた後、こうして走れる

体力の持ち主は誰なのか

と思つて同僚に聞くと「あ

の隊員は福島から来て

いる円谷だ。高校生の頃

からマラソンをやつてい

る。」とのことでした。そ

の5年後、東京オリンピック

クのマラソンで、日本人

として初めてスタンドに

日章旗を掲げることにな

る、円谷幸吉でした。

円谷君は昭和35年の春、

自衛隊内のスポーツ特別訓

練生が集まる仙台の体育学

校に異動となりました。

昭和38年の春、私が自

衛隊を満期除隊して警察

官となり、昭和39年開催

の東京オリンピックで警

備員として交通整理に従

事していた時の事です。

同僚が「今、マラソンがメ

インスタントに帰ってくる

ぞ」というのを聞き、待機

中であつた私は、近くの

テレビで円谷君の走る勇

姿をみて「自衛隊の同期

入った」と大変感動した

こと今でも忘れません。

2020年、再び東京

オリンピックが開催され

ます。2度目のオリンピック

クを見るために、元気で

頑張ろうと思つている今

日この頃です。

《追記》

平成29年度の総会は4

月9日(日)を予定して

おります。上野の森での

再会を楽しみにお待ち申

上げております。

## 盛岡支部

支部長

### 松尾 洋子

(南高6回生)

平成28年度の支部総会、

懇親会が2回の理事会を

経て、10月30日(日)に、

サンセール盛岡で開催さ

れました。本校から、事

務局佐藤陽子先生、同窓

会から、瓜生祐子会長、佐

藤洋子副会長、高橋睦子監

事の方々をお迎えし、96名

の参加で行われました。

総会では、事務局の佐

藤先生から本校の状況を

お話いただきました。そ

して、総会の議事を滞り

なく進め、新役員が選出

されました。今まで14年

の長きに亘つて支部長を

務められた堤世知子さん

が退かれ、14名の役員に

よる新体制が承認されま

した。

また、叙勲された5回

生の村田千代さんへ花束

を贈呈しました。

総会終了後、引き続き

21回生の企画運営による

懇親会が催されました。

余興は、恒例になつて

いる10回生の黒川さんに

よるハワイアンフラ、堤

支部長さんの太極拳、8

回生の吉田さんの軽体操

指導がありました。21回

生の出し物は、加藤さん

によるオカリナ演奏、続

いて「ズバリ当てましょ

う!」という商品の値段



した。

その後、大きな輪になつ

て「同窓会音頭」を踊り、

7回生の中村さんのピア

ノ伴奏で校歌を斉唱し、来

年度の当番が紹介され、お

開きとなりました。また

の会う日を約束する皆さ

んの笑顔が印象的でした。

11月12日には引き継ぎ

会をもち、来年度の体制

が整えられました。



## 北上支部

支部長

### 安藤 宣子

(花南八回生)

岩手県立花巻南高校同

窓会北上支部第34回総会・

懇親会を平成28年6月5

日(日)10時よりホテル

シティープラザ北上で開

催いたしました。





当日は、来賓として、母校から、遠藤可奈子校長先生、事務局長の佐藤陽子先生、同窓会会長長瓜生祐子様、副会長小瀬川陽子様をお迎えし、同窓生41名の参加で行われました。

総会の挨拶では、同窓会会長からは、県立校再編計画に花巻南高校も該当していること。また、花巻の街の様子としてマルカンの再開問題の話等。校長先生からは、在校生の学校生活の様子、進路

状況、また、部活動においても文武両道で大活躍をしておられるお話を聞きし、卒業生として、母校の躍進に誇りを感じた次第でした。

総会では、平成26・27年度の事業と決算報告、並びに平成28・29年度の事業計画・予算が承認され、また、新役員も承認され無事総会が終了という運びになりましたが、参会者の中から、総会の会場の横断幕に岩手県立を入れた方が良いとのご指摘がなされました

ので、今後の会計状況をみて、新しく作成していく方向に検討することに致しました。

我が北上支部は、以前より、会員の知識と教養との向上を考え、総会時に講演会を設定しております。

今回は、戦後71年を迎えた今年こそ戦争の悲惨さを知って欲しいと思い講師に北上平和記念展示館

前館長、高橋源英氏から「七千通の軍事郵便から」

「農民の声が聞こえる」というテーマでお話をいただきました。37年間も

の間、村や稲作の状況を伝える「眞友」という郷土通信を教え子の兵士達に送り続けた高橋峯次郎先生と戦場にいる教え子から受け取った七千通を超える軍事郵便とおし

てのお話でした。当時の兵士は、ほとんど北上市の和賀町(旧和賀郡藤根村)の農民であり、日本

が勝利することを願ひ、苦しい戦場で自分の務めを頑張りながらも故郷に残してきた家族や生活を心配しての多くの手紙でした。召集令状の実物を見せただき、戦争を

知らない若い人たちに解かるように丁寧に話して頂きました。また、峯次郎先生の深い師弟愛に感動を覚え、更に戦争の悲惨さ平和の尊さを実感させられた身に染みる貴重な講演でした。

懇親会は、高女34回生の田村京子さんと佐藤喜

久代さんがめでたく米寿を迎えられましたので、お2人に花束を贈呈し、皆さんでお祝いを致しました。また、詩吟、踊り、歌と全体踊り「どんと来

い岩手」「北上おでんせ」で盛り上がり、楽しく充実した会となりました。18回生、20回生の当番幹事のお世話に感謝し、次回を再開を約束して散会しました。

29年度は、総会の無い年ですので、同窓生の名簿整理に取り組みたいと考えております。

最後に、母校並びに同窓生の更なるご発展と躍進を心からお祈り申し上げます。

## 東和支部

平野のぶ子

(花南13回生)

平成28年度東和支部通常総会が6月26日(日)午前10時より東和温泉大広間に於て開催されました。

来賓として学校長遠藤可奈子先生・同窓会事務局佐藤一枝先生・同窓会

長瓜生祐子様・同副会長佐藤貴子様様の御臨席を頂き会員26名の出席で始まりました。

最初に支部長が挨拶に立ち、本日は女性参加の行事が多数開催され多くの会員が参加し活動している事、又本年度も目出度く米寿を迎えられた会員に支部長と事務局がささやかな祝品をお届けした事、訃報のあった会員の御遺族へは弔電を、など絆を大切にされた活動を報告し今後共役員一丸となって事業を進めるので尚一層の支援をお願いする旨述べられました。

続いて瓜生会長より祝辞があり、特に「県立高校再編計画に関する反対運動」の経緯について詳しい説明があり、支部としても取り組んだ署名運動に対し謝意を述べ今後

も会員が集って親睦を図りながら更に母校発展のため支部の援助を要望すると述べられました。次に遠藤校長先生からは在校生の進路や活躍の様子を丁寧に話していただき



ました。その後議事に入り全ての議案について慎重審議の結果提案の通り承認され、最後に新役員(朝倉千里支部長以下全員再選)の挨拶があり総会は無事終了しました。

次に研修会として東和町出身で花巻市副市長の佐々木忍氏による「東和町を取り巻く諸問題について」と題し、特に医療・地域農業・公共交通等についてご講演をいただきました。副市長には今後尚一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。研修会終了後、全員で記

念写真撮影の後いよいよお楽しみのお懇親会が始まりました。親しく歓談する中、余興ではカラオケや舞踊が続きプロ顔負けの衣装と仕掛けによるマジックショーに大喝采したあと最後には瓜生会長とご来賓全員のカラオケ「青い山脈」に続き「花南同窓会音頭」の踊り方をご指南いただき全員で輪になって踊り和気あいあいの中、盛会のうちに終了いたしました。

今回も瓜生会長にはあふれんばかりの母校愛と同窓会に寄せる熱い想い、そしてたくさん元気とパワーをいただく事ができました。益々ご健勝でご指導願いたいものと思っております。

本総会にご多忙の中枉げてご出席いただきましたご来賓の方々、佐々木副市長そして会員の皆さんに心から感謝申し上げます。

終りになりましたが母校の益々の躍進を御祈念申し上げます。

### 平成28年度

## 同窓会事務局日誌

#### 平成28年

- 4月8日(金) 入学式 本校体育館
- 4月10日(日) 東京支部総会 上野精養軒
- 4月14日(木) 会計監査 本校会議室
- 4月22日(金) 常任理事会 花龍
- 5月21日(土) 理事会・総会準備会
- 6月5日(日) 北上支部総会 ホテルグランシエール花巻
- 6月26日(日) 東和支部総会 ホテルシティープラザ北上
- 7月10日(日) 定期総会 ホテル千秋閣
- 7月21日(木) 全国大会出場激励費授与式 本校会議室
- 10月30日(日) 盛岡支部総会 サンセール盛岡
- 11月2日(水) 会報編集委員会 まなび学園
- 平成29年
- 1月20日(金) 会報編集委員会 まなび学園
- 2月28日(火) 同窓会入会式 本校体育館
- 3月1日(水) 卒業式 本校体育館
- 3月1日(水) 会報第34号発行

## 役員 寄稿

### わが母校・同窓生

#### そして榮譽

副会長 佐藤 洋子  
(南高14回生)

私は中学時代、高校に行くなら花巻南高校と頑なに思っております。その理由は制服でした。

白いブラウスに紺のジャンパースカートの制服姿は将来自分も着てみたいと思いがれていました。そして昭和39年4月、念願の制服を身にまとい岩手県立花巻南高等学校に入学いたしました。見た目と現実の違い、憧れのジャンパースカートは毎日寝押しをしないとヒダが綺麗にならないので手間がかかり面倒だった記憶があります。

あれから50年余りの歳月が過ぎた現在、自分が同窓会活動に携わっている事が不思議です。高校の入学当時も卒業時も同窓会の存在を意識した記憶はなく、ただ卒業式会場に気品のあるおぼさま達が入って来た覚えはありますが、まさか自分が

同じ立場になるとは予想だに出来ない事で今だに困惑しております。

花巻南高校は平成28年度において創立105周年を迎えた県内でも最も歴史と伝統ある高校の一つであり、それと共に私達先輩の同窓生は日本全国そして世界へと飛躍しております。

「旭日双光賞」「瑞宝単光賞」「瑞宝双光賞」「藍綬褒章」「仙台高等裁判所長官表彰」「厚生労働大臣表彰」等々の榮譽に輝いた同窓生の受賞者の方々には、尊敬の念を抱かすにはおられません。学校の誇りです。

同窓会として、このような栄えある受賞の実績があった年は、年度内の3月に表彰者を祝う会を開催し、喜びを分かち合う機会を設けておりますので、受賞の情報を提供いただければと思います。

花巻南校も制服についてもジャンパースカートから今は柄もデザインもモダンになり、校舎も現在の校舎に移転され、総合選択制高校になり校歌も変わり、正直のところ現在の花巻南高校は母校でありながら母校として馴染めない感があります。が、ジャンパースカートの制服姿に憧れてのみ花巻南高校に入学した私は自分を恥じ、今となれば伝統ある学校、才能満ち溢れる先輩同窓生の榮譽ある受賞等を鑑みると、花巻南高校を母校と出来ることに、今更ながら嬉しく思います。



# 表彰者紹介

## 県勢功労者表彰を受賞して

村田 千代 (南高5回生)



平成28年度県勢功労者表彰式は、薫風爽やかな5月25日、盛岡市中野町の知事公館で行われ、達増県知事より功労に対する感謝の意とともに表彰状と記念品が授与されました。

この賞は昭和55年に創設された県表彰の最高位に位置するもので、今年度は社会福祉、産業振興、保健医療の各分野において尽力された4人を表彰するというものでした。私の実績概要は「岩手県看護協会会長等として、看護職員の資質の向

上に尽力するとともに、看護職の視点から病院経営の安定化や医療の質の向上に努めるなど、本県保険医療の充実に貢献した。岩手県医療審議会委員として本県保険医療施策の推進に尽力するとともに、各種審議会委員として県政各般にわたる諸施策の推進に貢献した。」

ということでした。

県総務部の担当者からご連絡を頂いた時は、全



く予期しなかったことでしたので、びっくりして「お断りしてもいいですか？」と尋ねましたところ、「俺たちの仕事が無くなるのでは非受けて下さい」と言われました。

母校を巣立って看護の道を志し、戦後の日本の看護が大きく変わって発展してきた時代の55年間、その道は必ずしも平坦ではありませんでした。が、これまでに陰に陽に支えて頂いた皆様のお力でここまで走り続けることができたと思っています。そのねぎらいとして、この賞は自分1人に贈られるものではないと思います、胸を張って受けることにいたしました。

表彰式後、岩手日報記者の取材に対し、「この受賞は看護職員の働きが認められた証。みんなの代



表として受けたと思っています。人の心の痛み分かる看護者を育てたい。」と述べました。

現在は、岩手医科大学法人顧問としてこれまでの経験を基に看護学部設置準備に取り組み、4月の開学を楽しみにしています。医学部、歯学部、薬学部、看護学部が同じキャンパスでお互いの垣根を越えた連携教育を行い、真のチーム医療を学べる日本で唯一の大学になります。

私を育ててくれた母校

の卒業生が1人でも多く入学することが何よりの喜びであり、ご褒美です。終わりに、母校並びに同窓会の益々のご発展を祈念しつつ、受賞の栄誉

に恥じないよう精進してまいりたいと存じますので変わらぬご指導、ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

## 「みどりの愛護」功労者国交大臣表彰

佐藤 さよ子 (南高14回生)

地域化に貢献した団体をたたえる本年度の「みどりの愛護」功労者国交大臣表彰に、本県で唯一、

花巻市の「ぎんがのもり」の活用を考える会(佐藤さよ子代表)が選ばれました。

2016年(平成28年)6月23日(木曜日)

緑化貢献で大臣表彰  
色や季節感 工夫凝らす

花巻・ぎんがのもりの利活用を考える会

公園花壇整備に榮譽

「みどりの愛護」功労者国交大臣表彰に、本県で唯一、

# 南高64回生 幹事紹介

## 【学年代表幹事】

4組 福岡 芽衣



幹事として  
同窓会が盛り  
上がるように  
頑張ります。

3組 大平 紗英



楽しい同窓  
会にできるよ  
う頑張ります。

## 【各クラス幹事】

1組 菊池 健太



楽しい同窓  
会にする！

3組 上野 稜



100年以  
上歴史がある  
花南の同窓会  
幹事として精一杯務めさせ  
ていただきます。

1組 小田島 梓



みんなが集  
しめる同窓会  
にできるよう  
がんばります。

4組 瀬川 俊



幹事として  
自らの仕事に  
責任をもって  
よりよい同窓会になるよう  
にしたいです。

2組 島山 梨佳



みんなで集  
まって楽しい  
同窓会にしま  
しょう!!

5組 高橋 奈樹



自分のでき  
る仕事をしっ  
かりとやり、  
みんなが楽しめる同窓会に  
したいと思います。

2組 菊池 恭介



同窓会を盛  
り上げていけ  
るようになん  
ぱります。全員でやりたい  
からみんな来てね。

5組 寶槻 優



様々な行事  
に参加して、  
楽しいことが  
できるように頑張りたいで  
す。

# 母校だより

## 平成28年度 進路合格状況

### 1 進学受験状況

9割近くの生徒諸君が

進学を希望し、進学校と

して躍進しています。推

薦入試では、国公立大学

から、専門学校まで、74

名の生徒が受験に挑みま

した。結果は以下のとお

りとなり、昨年同様良い

結果を残すことができま

した。

● 主な合格先

(平成29年2月6日現在)

＜国立大学＞

北見工業大(1) 山形大

(1) 岩手県立大(4) 新

潟県立大(1)

＜私立大学＞

盛岡大(5) 岩手医科大

(1) 岩手保健医療大(1)

富士大(2) 東北学院大

(3) 尚絅学院大(2) 東

北福祉大(2) 東北公益

文科大(1) 東洋大(1)

和洋女子大(1) 東海大

(1) 東京経済大(1) 昭

和音楽大(1) 立命館大

予備校主宰センター試  
験直前模試や学習会を企  
画し、先生方の指導によ  
る支援を行っています。

### 2 就職内定状況

民間就職希望者は32名

で、29名が決定していま

す。公務員希望からや進

学希望から変更した生徒

が目立っています。面

接練習に熱心に臨むなど、

取り組みは立派でした。

これから社会人として、

それぞれの職場での活躍

を期待しています。

＜医療系専門学校＞

国立仙台医療センター附

属仙台看護助産学校(1)

岩手リハビリテーション

学院(3) 県立二戸高等

看護学院(1) 花巻高等

看護専門学校(6) 岩手

看護専門学校(2) 盛岡

看護医療大学(1) 仙

台リハビリテーション専

門学校(2) 聖マリアン

ナ医科学看護専門学校

(1)

＜各種専門学校＞

専大北上保育福祉専門学

校(3) 盛岡医療福祉専

門学校(4) 日本外国語

専門学校(5) 日本航空

専門学校(1)

＜主な内定先＞

(平成29年2月6日現在)

花巻農業協同組合(4)

花巻温泉(2) リコーイ

ンダストリアルソリユ

ション ベルジョイス

SW S 東日本 岩手雪運

中川装身具工業 東北佐

竹製作所 ケーアイケー

TDK・MCC(4) ホ

ンダカーズ岩手南 ア

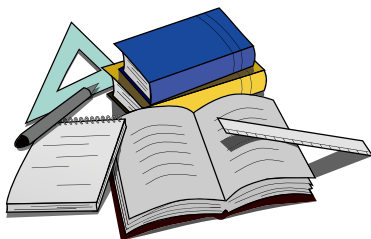
クトコーポレーション ア

クセル ヤマト ケーワ

イケーコーポレーション

愛工大興 ゼビオマル

ケイ建設



女子  
ハンド  
ボール部



女子  
ソフト  
テニス部



弓道部



サッカー部



陸上部



女子  
ソフト  
ボール部



陸上部



部活動の記録

壮行式



水泳部

体操部



選手宣誓



体育祭 & 花南祭の  
記録

吹奏楽部



日本音楽部



家庭部 コンテスト受賞ドレス



茶華道部



スポーツ健康科学系学系ダブルダッチ



仮装コンテスト



演劇部



# 国際交流 (海外ホームステイ研修)

昨年度は、韓国コース、ハワイコースへそれぞれ9名、様々なプログラムを通じて、異文化交流を図りました。10名と多くの生徒を海外に派遣することができました。

## 1. 韓国コース

派遣期間 平成28年3月17日(木)～3月21日(月)  
派遣場所 韓国 安養外国語高等学校  
参加生徒 1年5名 2年4名



韓国に降り立ってすぐに記念撮影



安養外国語高校の授業を体験



韓国の食文化もたくさん学んできました



かつての王宮・景福宮勤政殿(正殿)の前で

## 2. ハワイコース

派遣期間 平成28年3月27日(日)～4月3日(日)  
派遣場所 ハワイ レイレファ高等学校  
参加生徒 1年4名 2年6名



ダイヤモンドヘッド登頂



ホスト生徒と記念撮影



みんなで授業に参加



レイレファ高校最終目 この友情は永遠に…

## 編集後記

高橋 昭三

「人は己の弱点で身を滅ぼす。」

原句はもっと強い表現ですが、故あって、多少修正してみました。出処は、司馬遼太郎著「龍馬が行く」の一節にあります。幕末土佐藩脱藩者2名を追って捕吏が京大坂に発ちます。運よく2名を見つけたものの、己の弱点により敢えなく非業の最期を遂げることとなります。

曰く「彼の弱点は無類の酒好きであった」と。弱点は精神、身体は無類のこと、又趣味、嗜好も弱点となり得る余地があります。例え

ば、午後5時から楽しい催し(趣味、嗜好)が予定されている場合、気がそぞろになり、仕事に手につかず然して事故をおこし、怪我をする等が考えられます。

因みに「怪我」は、我を怪しむと読むことが出来ませんが、己れの心が正常でない場合、おこるものとされております。「弱点は人間の常」と嘯ぶいてみたものの、果たしてそれで良いものかと、自問自答を繰り返している昨今です。

翻って、今回柄にもなく、ご大層な稿を起こしてしまい、内心甚だ忸怩たる思いです。

今回の会報作成にあたり、原稿をお寄せ下さいました方々、どうも有難うございました。

### 編集委員長

高橋 昭三 (南2)

### 編集委員

- 小瀬川陽子 (南5)
  - 石川 映代 (南6)
  - 佐藤 貴子 (南13)
  - 本館 博子 (南15)
  - 照井 重美 (南16)
  - 清水意久子 (南16)
  - 葛巻久美子 (南18)
  - 佐藤 仁実 (南37)
  - 戸来 誠 (南41)
- 事務局
- 佐藤 陽子 (南23教諭)
  - 佐藤 一枝 (南42教諭)

